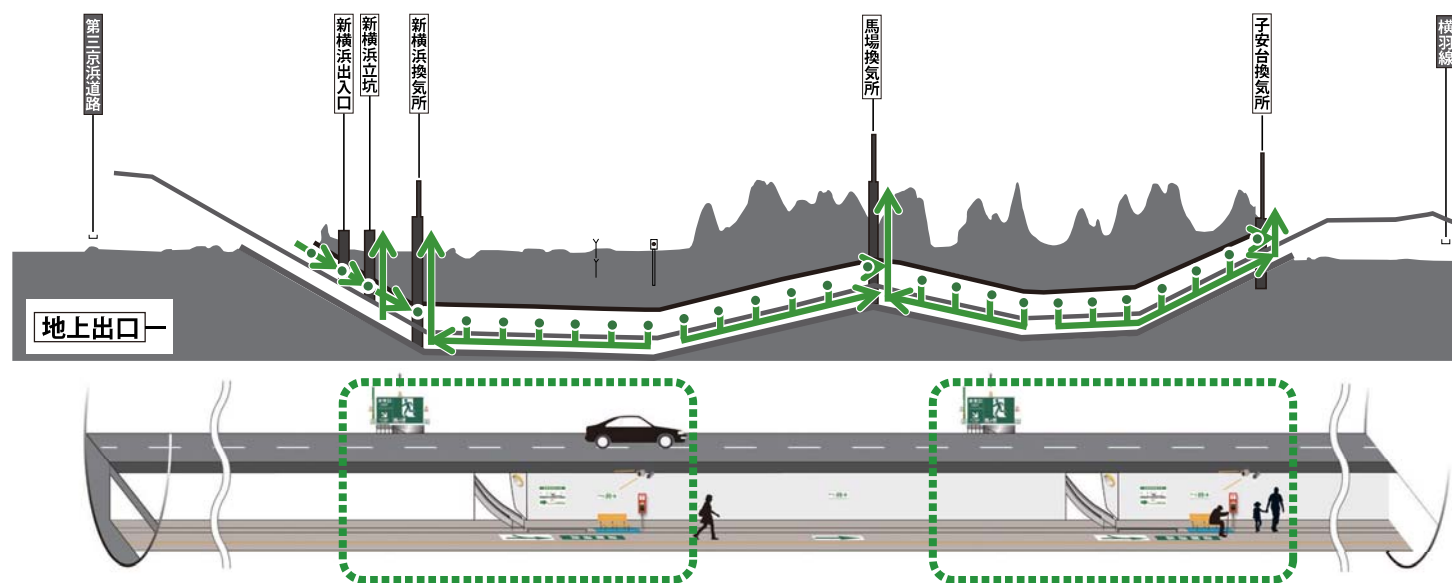


すべり台を使った避難方法

⑦ 横浜北線(④横羽線～第三京浜)の構造

⑦横浜北線(④横羽線～第三京浜)のトンネル区間の大部分は、通常時に車両が走行する車道部と、緊急時に避難する道路下安全空間の2層構造になっています。

車道部と道路下安全空間をつなぐ施設として、首都高速道路では初めてとなるすべり台式の避難方法を採用しています。
(※一部すべり台を使わない非常口もあります)



「非常口を開けるボタン」で非常口扉を開ける



ボタンは2つあります。

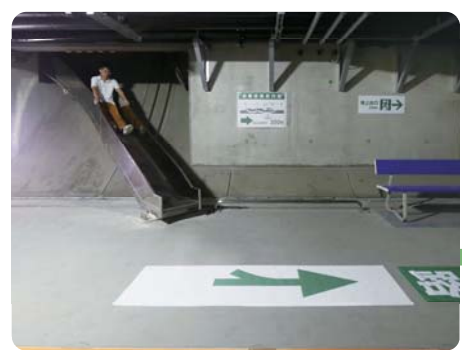


●非常口に設置された緑のボタンを押します。



●ボタンを押すと、非常口の跳ね上げ扉が開放します。

すべり台で道路下の避難通路に移動



●道路下の避難通路を経由して地上に出られます。
●避難通路は安全空間ですので、案内に従ってあわてず避難をお願いします。

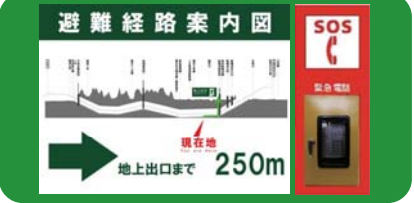


介助を必要とされる方がいた場合は、ご協力をお願いします。



●跳ね上げ扉が完全に開放されているのを確認し、すべり台により道路下安全空間へ滑り降ります。

道路下の避難通路をサインに従って避難



すべり台を降りた後は、避難通路内のサインに従って地上出口まで避難してください。

●道路下の避難通路をサインに従って避難をお願いします。
●避難通路内に管制室と連絡ができる電話を設置しています。



●地上へ向けて避難通路内の壁や路面のサインに従って避難をお願いします。

